

取材で分かった意外と知らない「ツウな情報」を、お伝えします。

コレ知ってたら

# 北勢線通

hokuseisen tsu!

## 北勢線こぼれ話

北勢線が国道1号を封鎖していた!?

北勢線が敷設された大正3年(1914年)ごろ、現在の桑名寺町通り商店街の南入口あたりに「桑名京橋駅」がありました。現在の西桑名駅までつながっていたので、線路は国道1号を横切る形で敷設されていました。国道1号は、電車が通るたびに踏切で封鎖され、渋滞することもあったそうです。

北勢線は 鉄道好きの聖地

ナローゲージは日本に3カ所しか残っていません。この貴重な電車に乗るために全国から集まっています。いわゆる「乗り鉄」です。小さくて黄色い電車がかわいいと写真を撮る人もたくさんいます。いわゆる

「撮り鉄」です。最近北勢線のモーターの音



イラスト 市民編集員 櫻井 暁子

に注目した「音鉄」という人たちがいるそうです。

日本で唯一がもう一つ

3種の線路幅を渡ることができ、唯一の踏切以外にもう一つ唯一のものが北勢線にはあります。連結器を持たずに、台車で車両を連結する特殊な構造(連接台車)を持つ非常に珍しい車両があります。この構造は、他の鉄道で採用されていますが、国内の特殊狭軌で現存しているのはこの車両のみで、とても貴重です。



## 市長がふれる!

# 本物力

No.18

北勢線

今月号の広報くわなは、史上初となる、いなべ・東員・桑名の3市町合同の「北勢線」特集!これを機に、それぞれの市町の皆さんが改めて北勢線をご利用いただければと思っています。

北勢線といえば、ナローゲージ。線路幅が762mmと、日本で一番線路幅が狭い鉄道ですが、皆さんは、この北勢

線の線路幅の狭さを実感できる踏切が桑名市内にあるのをご存知ですか。それは、西桑名駅から桑名市役所方面へ南に約300mほど進んだところにある「益生第4号」という名の踏切。ここは、日本で唯一、近鉄線・JR線・北勢



日本で唯一の踏切

線と3つの幅の異なる線路を同時に渡ることができる場所。実際に渡ってみると、他の線路と比べて、北勢線の線路幅がいかに狭いか体験できますよ(この踏切は大変狭く、国土交通省から危険踏切として指定を受けています。くれぐれも安全に気を付けて渡ってください)。

西桑名駅から北勢線に乗り込み、三岐鉄道入社8年目の菊地さんと入社2年目の中谷さん、お二人の女性からお話を伺いました。

菊地さんは秋田県出身。6年前から運転士をしています。北勢線の運転士18人のうち唯一の女性運転士ですが、全国的にはさほど珍しくないんですよと笑います。電車のスピードがそれほど上がらず、ゆったり進むところが気に入っているそうです。一方の中谷さんは、桑名出身。小さいころから利用して



菊地麻美さん(左)と中谷圭那さん(右)に北勢線での女性の働き方について聞きました

いた北勢線の運転士になりました。いとの思いで入社されました。現在は駅務掛として頑張っています。が、運転士になるために現在は勉強中なんだそうです。ぜひ夢をかなえてほしいですね。長きにわたり、沿線の人たちから愛され続けてきた北勢線。これまでと変わらず、これからこの地で走り続けられるよう、いなべ・東員・桑名の3市町で支援しています。ぜひ皆さんの積極的な利用をよろしく願います!

